

社会福祉法人 新和福社会
定 款

令和2年7月6日 改正

千葉県松戸市金ヶ作306番地
社会福祉法人 新和福社会
理事長 澁谷 八江子

社会福祉法人新和福社会定款

第一章 総則

(目的)

第一条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

- 1 保育所の経営
- 2 一時預かり事業の経営
- 3 小規模保育事業の経営

(名称)

第二条 この法人は、社会福祉法人新和福社会という。

(経営の原則等)

第三条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

(事務所の所在地)

第四条 この法人の事務所を千葉県松戸市金ヶ作306番地に置く。

第二章 評議員

(評議員の定数)

第五条 この法人に評議員7名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第七条 評議員の任期は、選任後四年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。

3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第八条 評議員に対して、各年度の総額が200,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第三章 評議員会

(構成)

第九条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第一〇条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第一一条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3ヶ月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第十二条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第一三条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第一五条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第一四条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名が、前項の議事録に記名押印する。

第四章 役員及び職員

(役員の数)

第一五条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名
 - (2) 監事 2名
- 2 理事のうち一名を理事長とする。

(役員を選任)

第一六条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第一七条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 理事長は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第一八条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第一九条 理事又は監事の任期は、選任後二年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第一五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第二〇条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第二一条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第二二条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第五章 理事会

(構成)

第二三条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二四条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第二五条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第二六条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第二七条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

ただし、理事長が欠席した場合は、理事長に代わり出席した理事が記名押印する。

第六章 資産及び会計

(資産の区分)

第二八条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の二種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 千葉県松戸市金ヶ作字北中306番地67所在の家屋番号306番67

鉄筋コンクリート造陸屋根2階建金ヶ作保育園園舎 1棟（612.58平方メートル）

(2) 千葉県松戸市金ヶ作字北中306番地67所在の家屋番号306番67（附属建物）

鉄骨造陸屋根高床式平屋建金ヶ作保育園事業用建物 1棟（43.99平方メートル）

(3) 千葉県松戸市秋山字向山45番地2、43番地5、43番地6所在の家屋番号45番2

鉄骨造陸屋根2階建 和ほいくえん園舎 1棟（805.97平方メートル）

(4) 現金100万円

3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第二項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第二九条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、松戸市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、松戸市長の承認は必要としない。

1 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

2 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を

担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

3 社会福祉施設整備のための資金に対する融資を行う確実な民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合で、当該事業計画が適切であるとの関係行政庁による意見書を所轄庁に届け出た場合。

なお、当該貸付に係る償還が滞った場合には、遅滞なく所轄庁に届け出るものとする。

（資産の管理）

第三〇条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

（事業計画及び収支予算）

第三一条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第三二条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）

(5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

（会計年度）

第三三条 この法人の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第三四条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第三五条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の三分の二以上の同意がなければならない。

第七章 解散

(解散)

第三六条 この法人は、社会福祉法第四六条第一項第一号及び第三号から第六号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第三七条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第八章 定款の変更

(定款の変更)

第三八条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、松戸市長の認可(社会福祉法第四五条の三六第二項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を松戸市長に届け出なければならない。

第九章 公告の方法その他

(公告の方法)

第三九条 この法人の公告は、社会福祉法人新和福祉会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第四〇条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

1 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。

ただし、この法人の成立後遅滞なくこの定款に基づき役員を選任を行う。

理事長	澁谷	新太郎
理 事	倉田	寛之
同	小嶋	豊太郎
同	小島	のぶ
同	野崎	洋一
同	丹治	和世
同	小嶋	武
同	永井	修洋
監 事	高橋	宏
同	橋本	泰助

2 昭和62年 3月25日 改正施行

3 平成 8年12月 1日 改正施行

4 平成10年12月19日 改正施行

5 平成17年 8月30日 改正施行

6 平成23年 4月11日 改正施行（目的追加）

7 平成23年11月 1日 改正施行（13条資産区分）

8 平成25年 4月30日 改正施行

9 平成26年 4月18日 改正施行（第4章追加、小規模保育事業）

10 平成27年 4月 9日 改正施行

11 平成27年10月 6日 改正施行（第4章削除、小規模保育事業）

12 (1) この定款は、平成29年4月1日から施行する。

(2) 第5条で定める評議員の人数は、平成29年4月1日から平成32年3月31日
までの間は4名以上とする。

13 令和1年 8月 2日 改正施行

14 令和2年 7月 6日 改正施行

理 事

役職名	氏 名
理事長	澁谷 八江子
理事	並木 幸雄
理事	知久 隆
理事	篠田 正春
理事	山本 博
理事	石井 京子

評 議 員

役職名	氏 名
評議員	松丸 千香子
評議員	安井 博子
評議員	鈴木 等
評議員	岡田 智恵子
評議員	武居 秀治
評議員	西 慶二郎
評議員	松本 崇宏

監 事

役職名	氏 名
監事	小嶋 功
監事	内田 みつえ

評 議 員 選 任 ・ 解 任 委 員

役職名	氏 名
外部委員	箱田 久美子
監事	内田 みつえ
事務局員	鶴原 マサミ

役員及び評議員の報酬等に関する規程

(目的及び意義)

第1条

この規程は、社会福祉法人新和福社会（以下「法人」という。）の定款第8条及び第21条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条

この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

1. 役員とは、理事及び監事をいい、評議員と併せて役員等という。
2. 常勤役員とは、理事のうちこの法人を主たる勤務場所とする者をいう。
3. 非常勤の役員とは、役員のうち、常勤の理事以外の者をいう。
4. 報酬等とは、報酬その他の職務執行の対価として受ける財産上の利益であって、その名称の如何を問わない。また、費用とは、明確に区分されるものとする。
5. 費用とは、職務遂行に伴い発生する交通費、旅費（宿泊費を含む）及び手数料等の経費をいい、報酬とは、明確に区分されるものとする。

(報酬等の支給)

第3条

役員等に対しては、職務執行の対価として、別表のとおり報酬等を支給するものとする。ただし、この法人の職員を兼務し、職員給与が支給されている役員等に対しては、報酬等を支給しない。

(報酬等の額の算定方法)

第4条

1. 理事長に対する報酬は、職務により別表第1に定める額とする。
2. 非常勤の役員に対する報酬の額は別表第2の2、3に定める額とする。
3. 評議員に対する報酬の額は別表第2の1に定める額とする。

(報酬等の支給方法)

第5条

1. 常勤の理事に対する報酬等の支給の時期は、次に定める時期とする。
報酬は、毎月25日（ただし、その日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は職員給与規程第5条の規定に準じて支給）
2. 非常勤の役員及び評議員に対する報酬は、理事会又は評議員会への出席など法人施設運営のための業務にあった都度、支給する。

3. 報酬等は、現金により本人に支給する。ただし、本人の同意を得れば本人の指定する本人名義の金融機関の口座に振り込むことができる。

(費用)

第6条

1. 役員等が出張する場合は、別に定めるところにより支給する。
2. 役員等が職務の遂行にあたって旅費以外の費用を要する場合は、当該費用を支給する。

(公表)

第7条

この法人は、この規程を持って、社会福祉法第59条の2第1項2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(補則)

第8条

この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の議決を経て、別に定める。

(改廃)

第9条

この規程の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

附則 この規程は平成29年6月30日より施行する。

(規程廃止)

役員報酬規程（平成28年4月1日適用）は廃止とする。

別表第1（理事長の報酬）

役職	役員報酬額
理事長・統括担当責任者	月額240,000円

別表第2（非常勤役員等の報酬）

1、評議員

	日額
評議員会への出席	10,000円
上記の他、法人及び施設業務の為の出勤	10,000円

2、理事

	日額
理事会等会議への出席	10,000円
上記の他、法人及び施設業務の為の出勤	10,000円

3、監事

	日額
監事監査等への出席	10,000円
理事会等会議への出席	10,000円
上記の他、法人及び施設業務の為の出勤	10,000円

※理事及び監事に対して、各年度の総額が理事に対して3,200,000円、監事に対して150,000円を超えない範囲とする。

令和3年5月31日
社会福祉法人 新和福社会
理事長 澁谷 八江子

令和2年度 法人事業報告書

1、 定時評議委員会開催

(1) 定時評議員会 令和2年6月23日 決議の省略

(評議員会決議事項についての、全評議員から同意書有り)

決議があったとみなされる議案事項

1. 令和元年度決算に係る計算書類（貸借対照表及び収支計算書）
及び財産目録について
2. 定款変更について
3. 役員及び評議員の報酬等に関する規程（理事及び監事の報酬額）について

2、 理事会開催

(1) 第1回理事会 令和2年6月 8日 開催

報告事項

- 報告第1号 令和元年度事業報告について
- 報告第2号 令和元年度監事監査報告について
- 報告第3号 理事長職務執行報告について

議案事項

1. 令和元年度決算に係る計算書類（貸借対照表及び収支計算書）
及び財産目録について
2. 社会福祉充実計画について
3. 定款変更について
4. 役員及び評議員の報酬等に関する規程（理事及び監事の報酬額）について
5. 就業規則変更について
6. 定時評議員会の招集について

(2) 第2回理事会 令和2年12月2日 開催

報告事項

- 報告第1号 理事長職務執行について

次ページへ

議案事項

1. 第1回補正予算について

(3) 令和3年3月30日 第3回理事会 決議の省略

(理事会決議事項についての、全理事から同意書有り)

決議があったとみなされる議案事項

1. 第2回補正予算について
2. 令和2年度会計決算見込みに係る計算書類について
3. 令和3年度事業計画及び予算について

3、監査

令和元年度監事監査報告書提出 令和2年5月23日

定款第18条1項に定める監査を、監事2名により行う。

令和3年3月26日
社会福祉法人 新和福祉会
理事長 澁谷 八江子

令和3年度 法人事業計画書

1、 定時評議委員会開催

(1) 6月中旬

- 1、令和2年度事業報告及び決算報告
- 2、その他

2、 理事会開催

(1) 5月下旬

- 1、令和2年度事業報告及び決算報告
- 2、その他

(2) 10月下旬

- 1、中間経過報告
- 2、補正予算に関する件
- 3、その他

(3) 3月下旬

- 1、令和4年度事業計画及び予算の件（法人・保育園）
- 2、その他

3、 監査


定款第18条第1項に定める監査を、監事2名により行う。

監査報告書

令和3年5月23日

社会福祉法人 新和福社会
理事長 澁谷 八江子様

監事 鈴木 等 

監事 内田 みつ江 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1、 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその資料について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討致しました。

2、 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録の監査結果については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上